

平成24年度 山口県介護支援専門員協会 理事会
議事録

1 日 時

平成24年4月28日(土) 午後1時から午後3時まで

2 会 場

山口県セミナーパーク 社会福祉研修室

3 出席者

(1) 理事

定数 44名

出席者数 41名(うち委任状出席6名)

出席者名

大久保千絵	橘康彦	松谷法史	服部恭弥	佐々木啓太
山本史彦	林浩二	廣兼裕之	池永泰典	松原泰典
堀田慎一郎	繁澤廣美	内山由紀	石田弥生	木村友和
岩神亜紀	三井栄三	山本尚志	久野陽一郎	吉岡伸恵
山本雅美	田村則子	松井清之	守田由起子	関永里美
河本好英	藤本真樹	福井治枝	山本太郎	板垣智子
阿部頼江	頃末能宏	横山具寛	岩本裕子	渡邊康浩

委任状出席者

古谷俊昭	湯本賢造	鬼木泰子	藤本邦和	河下武彦
吉田和敬				

(2) 監事

定数 2名

出席者数 2名

出席者名

松井康博 上野和禎

(3) 顧問

定数 2名

出席者数 1名(うち委任状出席1名)

委任状出席者

山根俊恵

(4) 事務局 福祉人材研修部 主事 川崎真由美 職員 福本かおる

4 報告事項

各部の活動状況について
平成24年度事業計画(案)について
平成24年度収支予算(案)について
役員の交代について
日本介護支援専門員協会の活動について

5 上程議案

- (1) 平成23年度事業報告について
- (2) 平成23年度決算報告について
- (3) 第9回山口県ケアマネジメント研究大会について

6 その他

会議等の出席に係る経費について

6 審議の経過
大久保会長

大久保会長挨拶の後、次第の変更を行い、上程議案から報告を行った。

大久保会長

「平成23年度事業報告」について説明。

大久保会長

第1号議案「平成23年度事業報告について」及び第2号議案「平成23年度決算報告について」は、相互に関連があるので、第2号議案については松谷副会長に説明を求めた。

松谷副会長

「平成23年度決算報告」について説明。

大久保会長

決算報告について、前年度からの繰越金が576,403円と、厳しい収益状況になったことに対する謝罪と原因について説明。

原因についてケアマネジメント研究大会の参加者の見込みの差が大きく、例年の開催時期が国体と重なり、開催日程、大会の周知が遅くなった。

場所については日本協会の中国ブロックの研修会も兼ねた為、県外の方の参加を考え交通の便や会場の場所等を考えての選定だったが、県内の会員の皆様に対する参加への不便さが生じた。

周知の遅れについては、実行委員の中で決定した内容が理事の皆様へ情報発信がうまくいかず、会員の皆様への呼びかけが遅れてしまった事で参加人数が伸びなかった。

研究大会に限らず理事の皆様との連携体制がとれておらず、理事会の開催も減り、直接話す機会、顔を合わす機会が減ったことについても原因の一つといえる。

会員の数が確定した際の会計の確認をきちんと行い、会の運営が円滑に行えるように事務局の委託先も今後検討していく。

今後の活動について理事の方と地域協会と十分連携を取り、研修についても会員の方が参加しやすいことを第一に考え、組み立てを考えていく。

大久保会長

質疑を求めたが特にないため、監査報告について松井監事に説明を求めた。

松井監事

会計について事業報告書、収支決算書、貸借対照表、財産目録について正しく示され、不整の点はないと認める。お金の流れについてもきっちり報告をされていることを確認している。

次年度繰越金60万弱、前年度よりの減額が120万となっており、同等の活動をするとう経営上厳しい状況になるので、今年度の活動内容を精査しつつ、年度途中で中間決算をしながら事業の執行状況を把握、修正しながら会の運営をしていくことが必要と思われる。事務局の委託先についても今年度の活動をしていただく理事の皆様へ協議いただき、会が継続的に運営できる手段の検討をお願いしたい。

橋副会長

事務委託費が会費で賄えてない状況に対し、会員数の減少に伴い委託が難しくなっている。中国ブロック大会の開催にも収益に繋がらなかったことも要因の一つである。日本協会の会費が段

階的に上がった際、会員の数も減少傾向になっているので三層構造の役割について後程話をさせていただきます。

大久保会長及び松谷副会長からの説明、監査報告に対し、質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く、承認された。

大久保会長 続いて、第3号議案「第9回山口県ケアマネジメント研究大会」について、今年度は11月11日に山口県総合保健会館で開催予定にしており、実行委員を立ち上げ内容等について理事、地域の皆様へお伝えしていく。

実行委員について会員数でブロックごとに実行委員の人数を分けているが、持回り等で回数が多くなるのであればブロックごとに話し合ってもらいたい。ブロック編成について防府、山口で1名、宇部、山陽小野田、美祢で1名の選出に変更させていただく。研究大会について実施スケジュール（案）が出ているので、組織総務部と実行委員で運営をしていく。実施スケジュール（案）について質疑を求めたが特になく、全員異議無く、承認されたのでスケジュール通り進めていく。

大久保会長 続いて、各部の活動状況として、各部長より報告をしていただく。

佐々木理事 広報事業部では、キャストGXの固定費の問題について、メイン機能の「お知らせ機能」を無料システムで補えるか検討をしている。「お知らせ」「資料室」「社会資源」についての費用も見直しを検討している。

廣兼理事 公益事業部では、キャストGXへ社会資源情報の立上げをしているが、効果的な活動ができていないため、今後の内容について新理事の方で事業を進めていただきたい。

繁澤理事 調査研究部会では、前年度ケアマネジャーの質について研究大会等で発表している。次年度は会員の減少について、現任、他職種として勤務しているケアマネジャーに対し職能団体として求められている事、方向性について調査研究していき、会の運営に繋がるように検討していく。

岩神理事 生涯研修部では、実務事務研修とスーパーバイザー養成研修(実践編)を実施し、5月の間に法改正、ターミナルケア研修の要項を案内予定。

今年度の研修の際入会された方について地域の方へ開催案内の周知のお願いをしている。

服部理事 組織総務部では、ケアマネジメント研究大会の実行委員を立ち上げ運営を行った。反省として収益を出すことが成功ではないが、今回は中国地区との開催で周知方法等がうまくいかないところもあった。日本協会からの支援について、県協会の在り方についても検討していく必要がある。

- 大久保会長 各部の活動状況について質疑を求めたが特になく、続いて役員
の交代について前回の理事会でお示した、次期会長を佐々木さん
にお願いすることについて、理事の中で立候補、推薦を求めた
が特になく、全員異議無く、承認された。平成24年度事業計画
(案)について佐々木理事に説明をいただく。
- 佐々木理事 「平成24年度事業計画(案)」について説明。
- 松谷副会長 「平成24年度収支予算(案)」について説明。
- 大久保会長 事業計画、収支予算に合わせ、旅費について橘副会長より説明
をいただく。
- 橘 副会長 旅費の算出根拠について、山口県社会福祉協議会の規定に基づ
き、自宅、事業所の近い各市町の支所より会場まで公共交通機関
を使ってきた形で支出している。しかし、実情に基づいてない点
があり24年度より県社協の旅費の算出方法を改定した。今後県
協会では実情に合った形で自宅、事業所から会場までの距離を1
キロ20円で算出していく形で細則に盛り込んでいく。事後振込
になるので出発地、帰着地、相乗り等旅費の申告を合わせてして
いただく。今ある予算で必要な回数の理事会を開催するためにこ
のような形で旅費を算出することについて了承を得るとともに
意見を求めた。
- 事務局 「平成24年度収支予算(案)」について修正を説明。
- 木村理事 今後の改善できる形を考えて会の運営を考えていく必要がある。
- 大久保会長 当面の旅費規程について1キロ20円で行い、会の運営が安定
するように会員の獲得等にご協力をいただく。24年度事業計画
(案)、24年度収支予算(案)、旅費の算出に対し質疑を求めた
が特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く、承認された。
- 大久保会長 続いて、新役員体制について新理事の方に自己紹介をしてい
ただいた。各部の決定方法について佐々木理事より説明をいただく。
- 佐々木理事 各部の決定方法について、前年度は希望を取っていたが、部会
の開催等もあるので地域でまとめる等まだ検討段階なので新理
事の方へメールにてご連絡させていただく。
- 岩神理事 生涯研修部について基礎研修に関してのみ協力員が必要にな
るので開催地より離れた場所の地域で部を組むのであれば事前
に了承をいただく必要がある。
- 佐々木理事 部会が開催しやすい形をとれるよう、研修を考えながら検討し
ていく。
- 大久保会長 部会について、後日次期会長よりご連絡との形で質疑を求めた
が特になく、全員異議無く、承認された。

- 大久保会長 続いて、日本介護支援専門員協会の活動について橘副会長より説明をいただく。
- 橘 副会長 日本協会の活動を理事の皆様から地域の皆様へ広めていただきたい。
アンケート等会員に向けての情報は会員の皆様に伝えていただき、山口県の意見として三層構造に繋げていけるようにする。次回の理事会より地域の声をあげていただけるように伝えていただきたい。各地域の研修会、総会等にも出向いて話をする機会を作り、会員になってない方へも会の事業内容等を知っていただけるよう活動をしていく。
現況の会費で会の運営を考えると厳しい中で前回の理事会で会費の値上げについて了承をいただいているが、額について意見をいただく。
- 服部理事 地域協会の負担について、会員獲得の際日本協会が会費の取りまとめをして頂く等、目に見えるメリットをだしていただきたい。まずは1,000円ずつ段階的に上げて状況を見ていくのがよいのではないか。
- 橘 副会長 日本協会が上げた際に会員が減っている状況、地域協会、県協会が苦しい状況であるので、地域に出向いて説明をしていきたい。
- 松原理事 会費の取り方のシステムを見直したらよいのではないか。
- 横山理事 会費の値上げについて理事会に出ると会の運営等、目に見えるものがあるが、事務費等固定費のために会費の値上げでは地域の方を納得させる理由にはならない。会費の額を決める前に地域に説明をしていただかないと会費の値上げについて地域で説明ができない。
- 橘 副会長 地域協会で開催している研修について規模が対応できない研修を県でニーズを調べ、開催を続けていくので地域の意見を県にいただき地域目線を大事にしていく。
- 松井監事 総会の際に決定した金額を示さないといけないのか、上げる方向を承認いただけるのか折り合いがつくところを考えたらいいのではないか。
- 橘 副会長 会員、会員以外の方のニーズも考え地域の方々が納得していただけるよう説明をしていくので、1,000円あげる方向で承認をいただく。
- 木村理事 事務局の委託先を考える等いろいろな案がでているので、24年度の予算で1,000円上げざるをえない状況について5月の総会で承認を得ないといけないので、会長を中心に会の運営を変えていき、動きを会員の方にお伝えし、2年後に結果がでるように努力する。

橘 副会長 地域協会に目を向け、研修参加者のニーズを高めることを含めステップアップできる研修を組み立てていく。

会費の値上げ額について 1,000 円ということで上程させていただくことに対し質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く、承認された。

大久保会長 旧理事の方で退任いただく方に挨拶をいただいた。

と き 午後 4 時 0 0 分

この議事録の内容が正確であることを証するため、署名捺印する。

平成 2 4 年 4 月 2 8 日

山口県介護支援専門員協会

議 長 _____ 印

署名人 _____ 印

署名人 _____ 印